

秋の午後のひととき、南米から爽やかな風が吹き抜ける

# ルシア塩満

アルパ・アコースティック・コンサート

2009年 10月18日(日)

14:00開演(13:30開場)

東京文化会館小ホール

(JR・東京メトロ上野駅公園口前)

前売:¥4,500(全席指定)当日:¥5,000

◆演奏:ルシア塩満

◆共演:宮川久志

高山直敏

高橋マサヒロ

◆ゲスト:ロス・タクナウ



●チケット発売開始:7月17日(金)

チケットご予約・お問合せ

◆東京音協 Tel:03-3201-8116

◆オフィス・アルペジオ Tel:03-3902-5355

チケット前売所

◆東京音協

Tel:03-3201-8116 www.t-onkyo.jp

◆オフィス・アルペジオ

Tel:03-3902-5355 arpeggio@minos.ocn.ne.jp

◆電子チケットびあ

Tel:0570-02-9999 (Pコード:331-380)

◆ローソンチケット

Tel:0570-084-003 (Lコード:37884)

◆イープラス

eplus.jp (パソコン・携帯)

◆東京文化会館チケットセンター

Tel:03-5685-0650

クラブ・パナンビ会員特典

ルシア塩満ファンクラブ会員が  
お求めになるチケットは前売分に限り  
全て会員割引(¥4,000/1枚)になります。

●ルシア塩満ホームページ

<http://www.arpalucia.com>

◆主催:東京音協/オフィス・アルペジオ

◆企画制作:オフィス・アルペジオ

◆後援:パラグアイ共和国大使館/日本アルパ協会



## ルシア塩満 アルパ、ギター、歌

幼い頃にパラグアイで生活し、そのとき聴いた民俗楽器アルパの音色に魅せられ、第一人者クリスティーノ・バエス・モンヘス氏の指導を受けるため数度の留学を重ねる。

1975年にプロ・デビューを果たし、以来アルパ奏者として国内外で活動を続ける。アルゼンチンの世界的な音楽祭『コスキン・フェスティバル』には過去5回出場する。パラグアイ、ボリビア、チリでもコンサートを開き、実力は高く評価されている。国内では長年にわたりコンサート、テレビ・ラジオ出演、レコード制作を通じてアルパとパラグアイ音楽を広く紹介し、その功績が認められてパラグアイ共和国から1995年に文化功労賞が、2004年には国家功労勲章・コマンドール位が授与される。2007年3月に「ミュージック・ベンクラブ・ジャパン」から2006年度の〈日本人：コンサート・パフォーマンス部門〉で最優秀音楽賞が贈られる。同年11月にパラグアイで行われた『第1回世界アルパ・フェスティバル』にアジア代表として招待され演奏、好評を博す。2008年にはパラグアイ、アスンシオン市の「パラグアイ日本文化センター（人造りセンター）」の20周年記念式典に招かれ演奏する。

多方面からわが国随一のアルパ奏者として認められており、これまでにパラグアイ大統領をはじめ多くの要人の前で演奏する機会も多く、日本とパラグアイの文化の架け橋として大いに活躍する。



## ロス・タクナウ Los TACUNAU

抜群のギター・センスと驚異の早弾きでアルゼンチン本国のみならずワールドワイドに活躍するペルー・タクナウが率いるグループ。日本でもフォルクローレ・ファンの間では良く知られているギター・デュオ「ロス・インディオス・タクナウ」はペルーの父と叔父にあたる。その血筋を受け継いだギター・テクニックはときにパワフルに、ときに繊細に響き、ときに甘く優しく語りかけ、聴く人を魅了する。またペルーをサポートするメンバーはケーナ、サンポーニャ、ロンロコなどのフォルクローレの楽器を自在に操る芸達者たちばかりで、幅広いレパートリーでステージを楽しく盛り上げる。



## 宮川久志 レキントギター、チャランゴ、ケーナ、歌

クラシックギター、リュート、ケーナ、チャランゴを独学し、1981年にクラシックギターを専門学校で学ぶため上京、やがて演奏活動を開始する。上京後、ルシア塩満と知り合うようになってからパラグアイ音楽にも興味を覚えるようになり、1985年からルシア塩満トリオのメンバーとして本格的に演奏活動に入る。クラシックギターで培った繊細なテクニックはパラグアイ音楽の演奏でも随所に輝く。

1987年にはスペイン、1991年にはドイツ、フランス、オランダなど5か国を游学しギターやリュートの演奏技法を習得する。



## 高山直敏 ギター、クアトロ、チャランゴ、サンポーニャ

高校卒業後、音楽専門学校に通い音楽理論などを学ぶ。フォルクローレとは高校時代から親しんでおり、ルシア塩満のアルパを聴いてからパラグアイ音楽に傾倒する。1994年からルシア塩満トリオのメンバーとして活動を始める。アルゼンチンの『コスキン・フェスティバル』へは過去3回、2007年には『第1回世界アルパ・フェスティバル』へルシア塩満のギター伴奏でパラグアイへ行く。

1997年にはアンデス地方の楽器を中心にした自己のグループでCDを自主制作している。



## 高橋マサヒロ ケーナ、サンポーニャ、ギター

フォルクローレのグループ「グループ・カンタティ」や「ルス・デ・ナスカ」の一員として演奏活動を続けた後、フォルクローレの本場ボリビアへ渡り研鑽を積む。1994年にはボリビアでCDを録音し、現地マスコミの間で大いに注目される。1995年にはケーナ、サンポーニャの新たな音楽性を追求するためジャズ分野で活躍する奏者とグループを結成し演奏活動に入る一方、1996年、2005年、2008年にCDを自主制作する。ケーナとサンポーニャのスペシャリスト。

